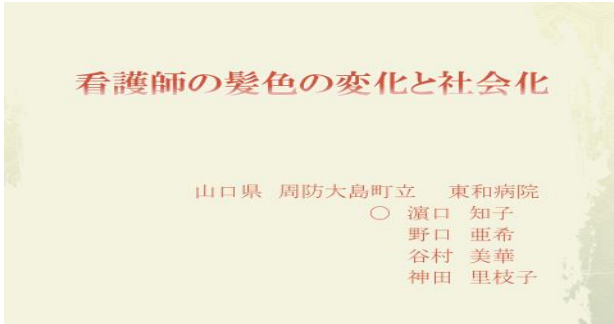


| | |
|---------|--|
| 演題 1 | 看護師の髪色の変化と社会化 |
| | 発表者 濱口 知子 (山口県 周防大島町立東和病院) 共同研究者 野口 亜希、谷村 美華、神田 里枝子 |



テーマ：看護師の髪色の変化と社会化
発表者：濱口知子（周防大島町立東和病院）

車で約30分で到着します



A病院は瀬戸内海の島にある町立病院です。病院事業局内には3病院あり、病院事業局全体で毎年10人前後の新人看護師が病院事業局内の看護学校から就職します。接遇などの研修は病院事業局内で行っています。赤い星の位置が町立病院、緑の星が看護学校です。



A病院は橋を渡って

2.目的

- ・ が就職して感じるストレスとその変化を理解し、ストレス対処行動としての髪のカラーリングの関連について考察する。
- ・ の組織社会化が円滑に進むような新人看護師研修・指導に役立てる。

新人看護師が就職して感じるストレスとその変化を理解し、ストレス対処行動と髪のカラーリングの関連について考察します。そして、新人看護師の組織社会化が円滑に進むような新人看護師研修・指導に役立てることを目的とします。

3.方法

病棟看護職員29名を対象とした頭髪のカラーリングに関するアンケート調査及びインタビュー。

アンケート調査の意味→カテゴリー化

インタビュー →内容分析

方法B病棟看護職員(看護師 22名、看護助手 5名)を対象としたアンケート調査およびインタビューを行います。

4.倫理的配慮

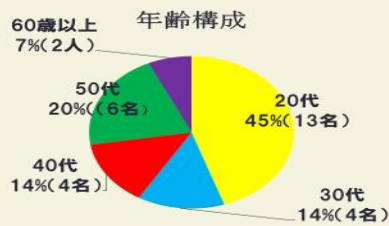
対象となる看護職員に対し、アンケート調査・インタビューの参加は自由意志であり、不参加であっても職務上何ら制約を受けることが無いことを文書で説明し同意を得た。病院事業局内の倫理審査委員会で承認を受けている。

倫理的配慮はスライド参照してください



1～20までのカラーチャートを示して、アンケートに答えてもらいました。

5.結果



アンケート結果：年齢構成 対象者の年齢構成は、20代が約半数を占めています。

5.結果<アンケート>

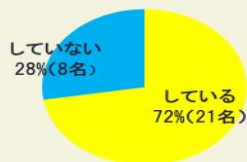
3.カラーリングの理由[複数回答]



3) カラーリングの理由は白髪染 38%で、残りは、おしゃれ・気分転換でした。

5.結果 <アンケート>

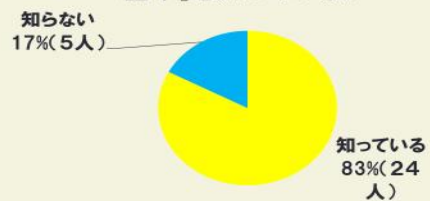
1.カラーリングをしていますか



対象者の72%はカラーリングをしています。

5.アンケート

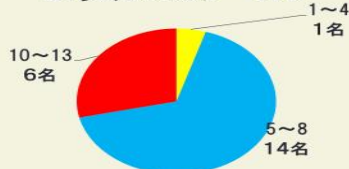
4.事業局で示されている「身だしなみ基準」を知っているか



4) 83%の人が、事業局で示されている「身だしなみ基準」を知っていました。

5.結果 <アンケート>

2.現在のカラーNO



髪色は、カラーNO 1～8が15名、カラーNO10～13が6名です。

5.結果<インタビュー>

対象者:20代看護師 10名

1)カラーリングを始めた時期

- ・高校生の時から
- ・看護学校の時(実習の時は黒くしていた)
- ・国家試験が終わってから
- ・2年目になる時(技術披露発表が終わってから)

<インタビュー>20代看護師10名にインタビューした結果です。1)カラーリングを始めた時期についての結果です。

5.結果<インタビュー>

対象者:20代看護師 10名

2)カラーリングをした理由

- ・髪が黒いと、重たい感じがする
- ・気分転換
- ・国家試験が終わってほっとした
- ・課題発表が終わって
- ・2年目になるから
- ・髪色は自由だと思うから

2)カラーリングをした理由は、気分転換や、国家試験や課題が終わってという理由がありました。

7.考察

1)カラーリングの実際と髪色

白衣着用時の
推奨カラーレベル6~8
(日本ヘアカラー協会)



1)カラーリングの実際と髪色 数年前まで、日本で「茶髪・金髪」は社会への反抗を喚起させる髪色でした。しかし、現在では白髪染めでも黒色ではなく茶色にカラーリングを行う方が多く、髪をカラーリングすることが一般的なファッションの一部になっています。特に女性では黒から明るい茶色に髪色を変える人が多くみられます。日本ヘアカラー協会では、白衣着用時の推奨カラーレベル6~8としています。

事業局で示されている「身だしなみ基準」の落ち着いた髪色とはカラーNO6~8までを指すと考えます。



看護職員の現在のカラーNOを見ると、真っ黒にカラーリングする人はいません。白髪染のためにカラーリングしている人は38%いますが、白髪染でも黒色より明るい色にカラーリングしていることがわかります。適切だと思うカラーナンバーで、「落ち着いた色」を超えるNO9~14を適切と考える人が約40%でした。医療における身だしなみの重要性を意識づけ、事業局で示されている「身だしなみ基準」の理解と実践が必要と考えます。

7.考察

2)カラーリングを行う

時期と理由

自分なりの節目を乗り越えた時
気分転換



2)カラーリングを行う理由「気分転換」を理由としたカラーリングについて、20歳代の看護師を対象としたインタビュー結果を考察します。国家試験終了後や2年目になる時などに、カラーリングしています。理由としては、国家試験が終わってほっとした、1年目の課題が終わったから、2年目になるからと、自分なりの節目を乗り越えた時に気分転換の目的でカラーリングを行っていると考えられます。

7. 考察

3) 看護師の社会化とストレス

組織社会化と
専門職への社会化



新卒の看護師は、病院に就職した際に組織社会化（組織になじむ）と専門職への社会化（専門職になじむ）が求められます。

組織社会化が十分でない場合、パーソナルないわば得手勝手である「自然発生的な自律性」が発揮されるために、カラーリングを繰り返し、明るすぎる髪色となってしまうのではないのでしょうか。医療に携わる者は、“身だしなみより技術”と考える事が多いと言われています。髪が明るくても良い看護は出来ると得手勝手な自律性を発揮してしまっていると考えられます。

A 病院の新人看護師研修内容は、組織社会化を助けられると思われる研修は、就業規則の説明や接遇に関する研修が半日で、看護実践に関する研修は就職後約 2 週間集中して続きます。部署配属後も技術オリエンテーションが 5 月まで継続しています。今後の課題として、組織社会化が促進される研修や指導を織り込んでいくことが求められると考えます。

「自分を変えたい」「自由で前向きになりたい」と思って髪の毛をカラーリングするのは心理的に効果があるといわれ、前向きに仕事に取り組めるのであれば、カラーリングすることを特に制限する必要はありません。しかし、病院事業局で示されている「身だしなみ規定」にある落ち着いた色を超えてしまう事が無いように髪色をコントロールすることは必要であると考えます。

7. 結論

・髪のカラーリングは、前向きに仕事に取り組むための心理的な効果となる。

・新人看護師の育成は、看護実践に関する研修のみでなく、組織社会化が促進されるような研修や関わりが必要。

・髪をカラーリングすることは一般的なファッションの一部となっているが、医療職にふさわしい髪色を保てるように、身だしなみの重要性を意識づける。

結論

・髪のカラーリングは、前向きに仕事に取り組むための心理的な効果となる。

・新人看護師の育成は、組織社会化が促進されるような研修や関わりが必要

・医療職にふさわしい髪色を保てるように、身だしなみの重要性を意識づける

引用文献

- ・1) 2) 藤井宏子: 新卒看護職の職業生活への適応に関する研究: 広島大学マネジメント学会 (10), 67-74, 2010
- ・3) 勝原裕美子、ウィリアムソン彰子、尾形真美哉: 新人看護師のリアリティ・ショックの実態と類型化の試み: 看護学生から看護師への移行プロセスにおける二時点調査から: 日本看護学会誌(看護管理)Vol9, No1, 30-37, 2005
- ・4) 田尾雅夫: 組織の心理学: 有斐閣ブックス, 107-111, 2013

引用文献



ご清聴ありがとうございました。